

平成 12 年 5 月 15 日

高野区長、小渕前首相ご逝去について弔意を表明

15 日（月）、高野之夫豊島区長は、小渕前首相ご逝去について別紙のとおり弔意を表明した。

小渕前首相は、介護保険制度がスタートした先月 1 日、丹羽厚生大臣とともに豊島区立高齢者在宅サービスセンター「山吹の里」（豊島区高田 3-37-17）を視察に訪れたが、この山吹の里への訪問が前首相生前最後の視察となった。

懇談会の席上で前首相は、「新しい制度がスタートする本日を政治家として記念すべき日として迎えた。その日にあたり、まず現場にのぞみ、皆さんからの率直な声を伺いたい」と挨拶。これに対し高野之夫豊島区長は、「豊島区においては、従来からの在宅サービス利用者が、引き続き切れることなくサービスを受けられるよう、万全の態勢で本日を迎えた。これも関係者の並々ならぬ苦勞と努力の結果と感謝している。制度の円滑な施行のため、万全を期していきたい」と保険者である自治体の決意を述べた。

小渕前首相は、施設内を見学するとともに施設を利用するお年寄りらに声をかけてまわった。職員が「利用者で最高齢の方です」と紹介すると、「こんにちは、おいくつですか」と握手を求め、「私と握手するともっと長生きするそうだよ」などと周囲を笑わせたり、サインにも気軽に応じていた。帰りぎわ前首相は、施設の窓から見送るお年寄りらに公用車の中から笑顔で手を振っていた。

問い合わせ 総務課総務係

小渕前首相ご逝去に伴う区長弔電

- ・宛先 小渕千鶴子（小渕前首相夫人）
- ・発信人 東京都豊島区長 高野之夫
- ・電文 下記のとおり

ご逝去の報に接し、涙が止まりません。

4月1日、豊島区立高齢者在宅サービスセンターご視察の際のお励ましと笑顔が忘れられません。

豊島区民と共に心からご冥福をお祈り申し上げます。

東京都豊島区長 高野之夫